



Avid FastServe | Ingest

ストーリーを一番に届ける



コンパクトな新デザイン、より多くのチャンネル数を提供するパワフルな次世代ビデオ・サーバーで、より優れたコンテンツをより迅速に仕上げましょう。Avid FastServe™ | Ingestは、生のニュース番組、スポーツ、エンタメ番組のベースバンド・キャプチャの課題に対処します。MediaCentral® と使用することで最大限のコラボレーション機能を提供し、スケジュールに沿ってインGEST。低レイテンシーで「追っかけ編集」することも可能で、高速ワークフローを実現します。将来の変化にも対応可能なモジュラー・アーキテクチャで効率性を高め、HDからUHDへ、またSDIワークフローからVoIPへのスムーズな移行を提供します。

HDおよびUHDメディアを簡単にキャプチャ

Avid FastServe | Ingestは、生のニュース番組、スポーツ、エンタメ番組のベースバンド・インGESTの課題に対処します。スタジオのカメラ、衛星中継フィード、その他の入力ソースからの最大4つのUHDストリームまたは最大8つのHDストリームを同時にエンコードできます。数百時間に及び内部ストレージに加えて、Avid NEXIS® ストレージへのリアルタイムのメディア転送をもたらす冗長10GbEインターフェースをコンパクトな3Uシャーシで提供します。

コンテンツ制作時間をスピードアップ

Avid FastServe | IngestはMediaCentralに完全統合し、最大限のコラボレーション効率を提供します。各地に散らばるクリエイティブ・チームは、あらゆる場所・デバイスからでも、(要求度の高いUHD解像度を含む)メディアのキャプチャと同時にアクセス、編集できます。MediaCentral | CaptureでインGESTを自動化することにより、ワークフローを効率化。また、メディアを内部ストレージとAvid NEXISの両方に同時に書き込むことができるため、新鮮な素材を関係者に即時に提供することができます。また、バックアップも用意されるので安心です。

メディアをキャプチャ中に編集

素材のキャプチャが完了するのを待つ必要はありません。FastServe | Ingestは「追っかけ編集」ワークフローに対応しているため、エディターはフレッシュな素材の編集に即時に取り組み、より迅速にコンテンツを仕上げるすることができます。XDCAM素材8チャンネルをインGESTしながら、同時に8つの高品位プロキシ・ストリームを生成できるようになり、高解像度からプロキシ、またその逆のスムーズな移行を提供します。また、Avid NEXISへのダイレクトな高解像度およびプロキシ・メディアのデュアル・インGESTを提供。ジャーナリストやエディターは「追っかけ編集」機能を活用できます。

より優れたワークフロー効率を実現

FastServe | Ingestはアンシラリ・データを抽出してAvid NEXISに書き込むことができ、ビデオとオーディオに加えて追加データ・トラック (Dトラック) 情報をMediaCentral制作環境全体にわたって利用可能にすることができます。クローズド・キャプション、タイムコード、その他さまざまなワークフローのニーズに対応するメタデータの抽出に最適です。アンシラリ情報は収録されたフィードへの関連性が維持されるため、必要に応じて繰り返し簡単にエクスポートすることができます。また、ラテン語と日本語を含むさらに多くの言語に対応。ファイル名、キーワードなどを現地の制作用語で入力可能になりました。

ROIをブースト

Avid FastServe | Ingestは、現代の放送局の複雑で絶え間なく変化するメディア・キャプチャのニーズに対応します。高密度HD、1080p、UHDインGEST、および、IP、SDI、混合環境への対応を提供することで制作コストを削減。並外れた投資利益率を提供します。

主な特長

- MediaCentralに完全統合する高密度インGEST・サーバーで生放送制作ワークフローを強化
- MediaCentral | Captureと共に使用することで、自動スケジュールや自動コントロール機能で迅速かつ正確にメディアを取り込む
- 最大4つのUHDストリームまたは最大8つのHDストリームを同時にエンコード
- 数百時間分の素材を内部ストレージにキャプチャ、冗長10GbEインターフェース経由でAvid NEXISストレージにリアルタイム・メディア転送
- 低レイテンシーの「キャプチャ中に編集」機能で、ログ担当者、ジャーナリスト、エディターにメディアを即座に提供
- 相互互換のインターフェースを使用してSDIからVoIPワークフローへのスムーズな移行が可能
- HD-SDIとVoIPインターフェースの組み合わせでハイブリッド・インフラに対応
- 複数のサーバー経由で複数のチャンネルを同期して収録や転送を開始または終了、マルチカメラ・ワークフローを効率化
- RAID保護ディスク、冗長化電源とネットワーク接続により信頼性の高い運用が可能
- 高解像度と高ビットレート、高チャンネル数にも対応したサーバーで、設備投資を保護

詳細は、avid.com/fastserve
をご覧ください。

Avid FastServe | Ingest—ストーリーを一番に届ける

仕様

CPU	2 x Intel Xeon 8-Core 2.1 GHz		
オペレーティング・システム	CentOS Linux		
メモリ	64 GB RAM		
データ・インターフェース	1 x シリアル 4 x USB 3.0 (2 x 前面 / 2 x 背面) 2 x 10Gb Ethernet (SFP) 2 x 1Gb Ethernet (RJ45) 1 x VGAメンテナンス (背面) 1 x XLR LTC入力		
内蔵ストレージ	ビデオ・サーバー——16 x 2 TB SATA 3、RAID 60 システム・ディスク——2 x 240 GB SSD、RAID 1		
メディア容量	XDCAM50 422:360時間以上 DNxHD SQ:200/160時間以上 DNxHR SQ 3G:100/80時間以上		
対応ビデオ・コーデック	HD:XDCAM HD 422、DNxHD SQ、DNxHD HQX 3G:DNxHD SQ、DNxHD HQX UHD:DNxHR HQX		
ビデオ入力	HD-SDI/3G-SDI、クリーンおよびOSDループ		
ビデオ出力	1 x HD-SDI/3G-SDI		
ビデオ出力 (モニタリング)	1 x HD-SDI/3G-SDI、OSDオン/オフ		
使用可能なI/O構成 ——HD	完全フレキシブル 8イン / 0アウト 7イン / 1アウト 6イン / 2アウト	5イン / 3アウト 4イン / 4アウト 3イン / 5アウト	2イン / 6アウト 1イン / 7アウト 0イン / 8アウト
使用可能なI/O構成 ——UHD	完全フレキシブル 4イン / 0アウト 3イン / 1アウト 2イン / 2アウト 1イン / 3アウト		
オーディオ	エンベデッド・オーディオ——PCM、ビデオ入力チャンネルごとに最大8ステレオ・オーディオ・チャンネル、XDCAMに対してステレオ x 4		
ビデオ・リファレンス	ゲンロック、アナログ・ブラック・バースト / 3値レベル、ループ・スルー75Ω		
タイムコード入力	内部フリーラン、LTC - XLR、エンベデッド VITC / ATC (RP-188)		
タイムコード出力	VITC / ATC		
外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	3Uラック、130 x 443 x 790 mm (5.1 x 17.4 x 31.1インチ)		
重量	約38 kg (83.7ポンド)		
電源	冗長電源、100-240V、47~63 Hz、2 x 1,500w (最大)		
環境条件動作温度範囲:	動作時温度:5°~40°C (41°~104°F) 保存温度範囲:-40°~70°C (-40°~158°F) 湿度:最大90%		

アビッド テクノロジー株式会社

T107-0052

東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館ビル4F

© 2018 Avid Technology, Inc. All rights reserved. 無断複写・転載を禁じます。製品の機能、仕様、システム要件、販売形態、価格は、予告なく変更されることがあります。Avid、Avidロゴ、Avid FastServe、Avid NEXIS、MediaCentral、Media Composerは、アメリカ合衆国あるいはその他の国におけるAvid Technology, Inc.やその子会社の登録商標または商標です。文中に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。

詳細は、avid.com/fastserve をご覧ください。

FSIDS0318